

2025年3月期第1四半期 セグメント資料

株式会社島精機製作所

2024年8月

I. 2025年3月期

第1四半期決算概要 . . . 3P

II. 2025年3月期業績計画 . . . 11P

«補足資料» 13P

«トピックス»

新中期経営計画 16P

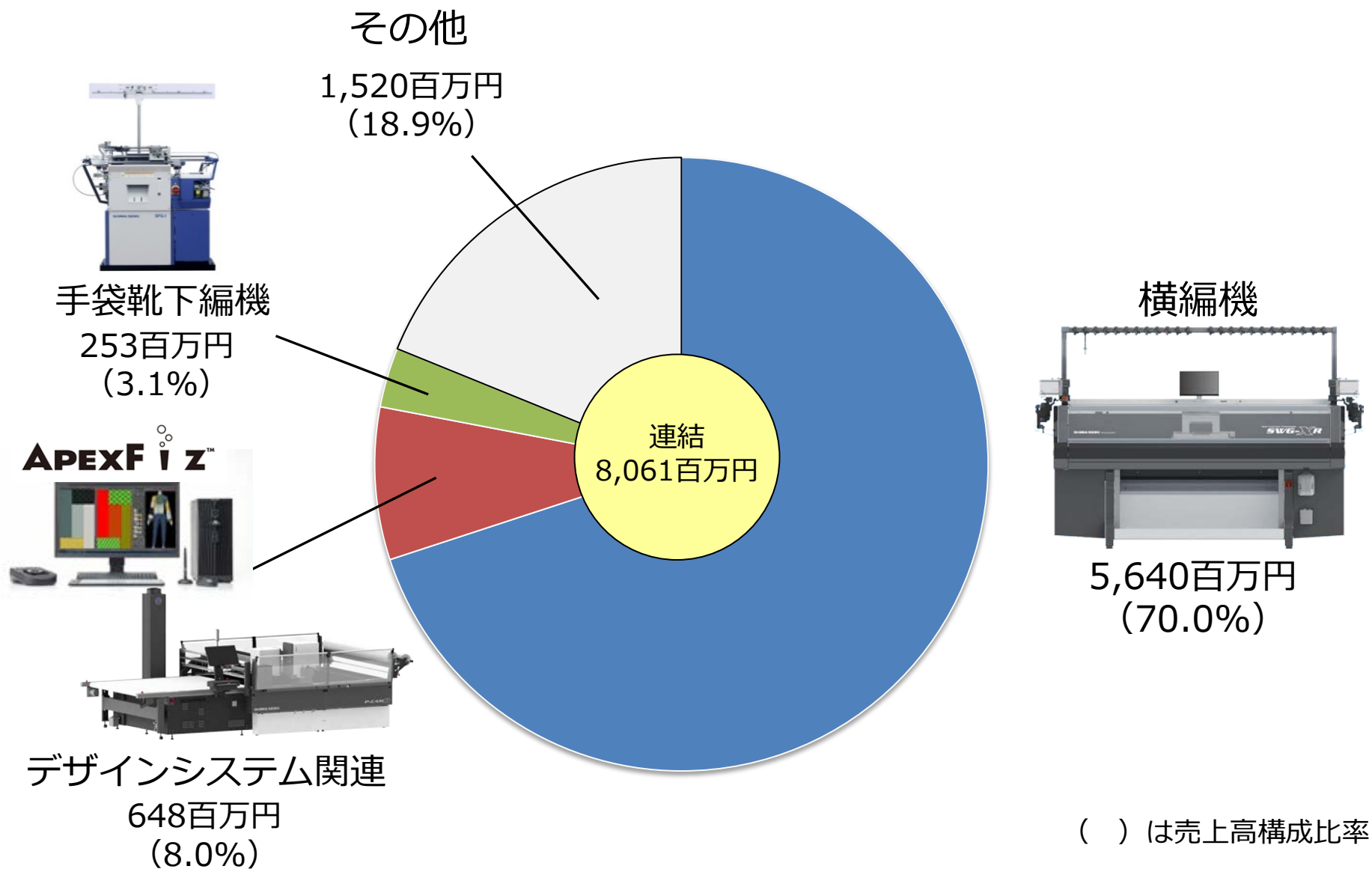
2025年3月期第1四半期決算概要

SHIMA SEIKI

(百万円)

	2025年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	2024年3月期
売上高	8,061	11,695	35,910
営業利益	△493	695	430
経常利益	△343	918	1,018
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△380	740	1,030

為替レート (円)	2025年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	
ドル・円	161.07	144.99	期末為替レート (上段)
	156.09	135.74	平均売上レート (下段)
ユーロ・円	172.33	157.60	
	168.05	147.71	



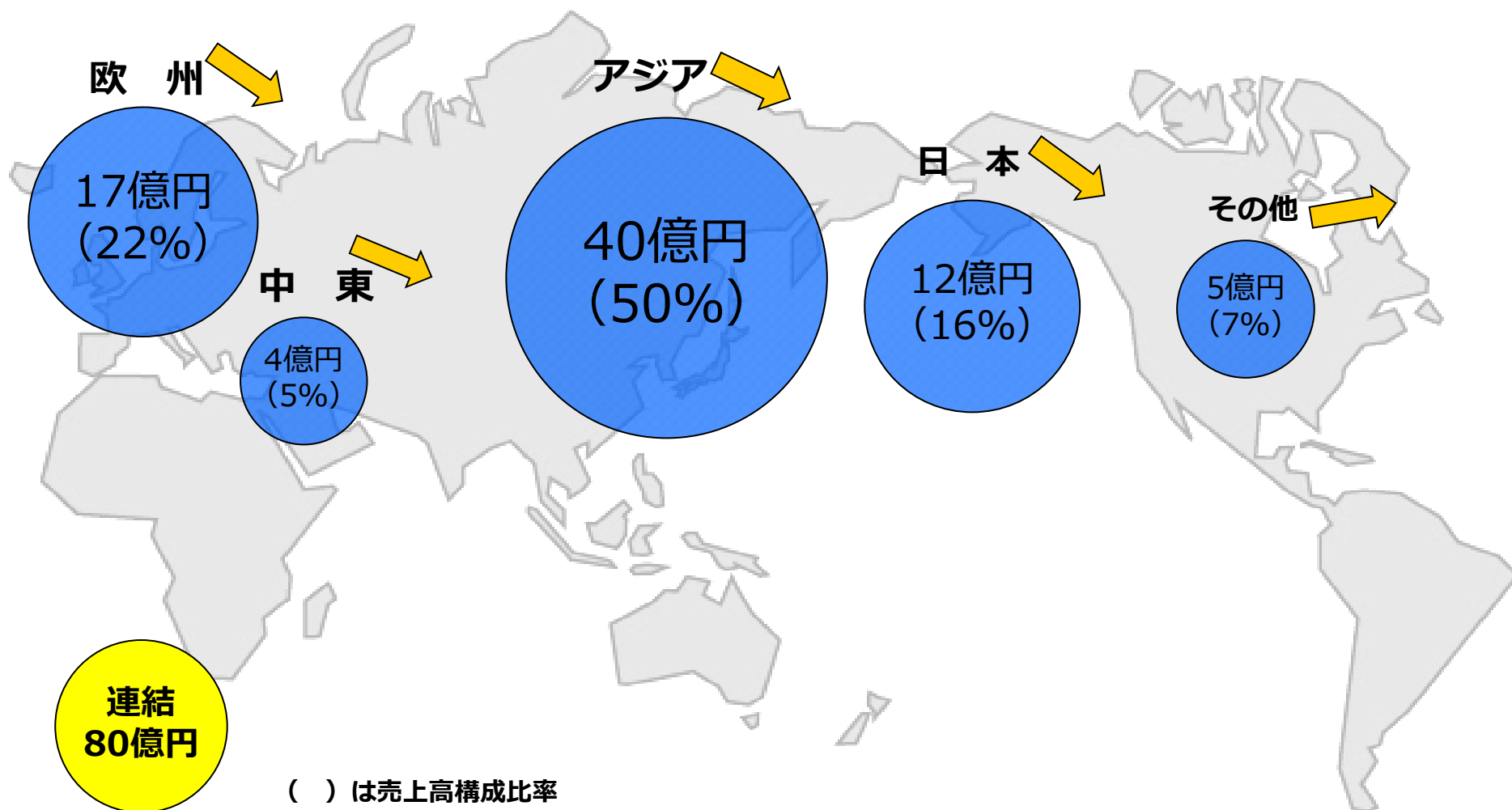
事業セグメント別売上高・営業利益（第1四半期）

SHIMA SEIKI

（百万円）

	売上高	前年同期比 （%）	営業利益	前年同期比 （%）
横編機	5,640	△38.0	537	△62.6
デザインシステム関連	648	△24.8	119	△48.0
手袋靴下編機	253	+448.7	41	+1,275.9
その他	1,520	△10.0	323	△39.0
消去			△1,514	
合計	8,061	△31.1	△493	—

地域別売上高構成〔連結〕（第1四半期）

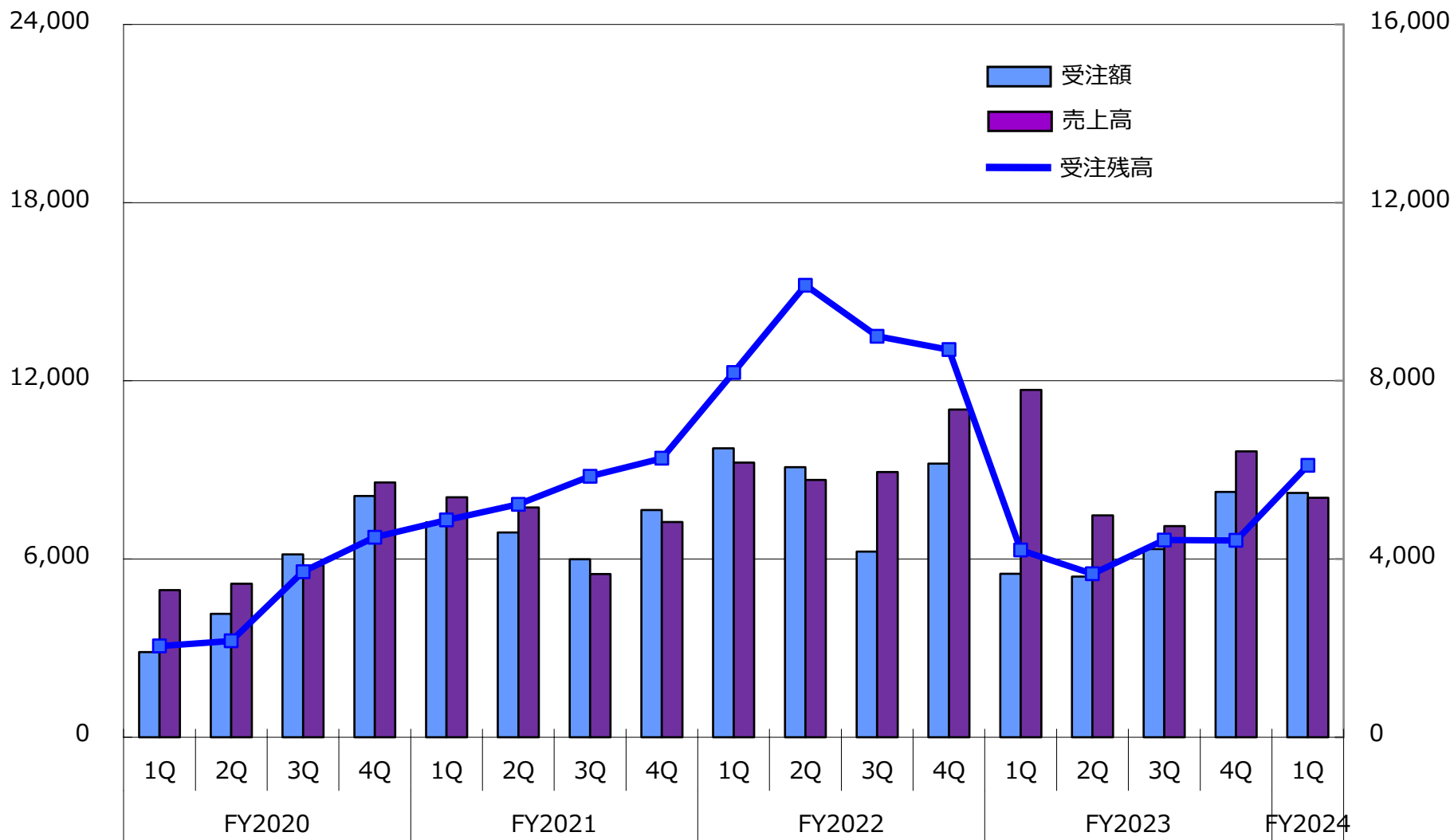


地域別売上高〔連結〕（第1四半期）

(百万円)		2025年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	前年同期比 (%)
日	本	1,270	1,732	△26.7
欧	州	1,763	2,326	△24.2
ア	ジ	4,051	6,090	△33.5
ア				
中	東	404	1,046	△61.4
その他（海外）		571	499	+14.4
合	計	8,061	11,695	△31.1

受注・売上高（百万円）

受注残高（百万円）



四半期別業績推移〔連結〕

(百万円)

	2023/3				2024/3				2025/3
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	9,252	8,665	8,929	11,038	11,695	7,474	7,112	9,628	8,061
営業利益	△712	276	△208	△1,540	695	△327	391	△328	△493
経常利益	△516	309	△198	△1,294	918	△353	633	△180	△343
親会社株主に帰属する 当期純利益	△686	174	△545	△4,586	740	△372	616	44	△380

(百万円)

受注高	9,726	9,093	6,251	9,216	5,507	5,413	6,333	8,263	8,224
受注残高	8,186	10,145	9,001	8,700	4,201	3,669	4,428	4,419	6,102

Ⅱ. 2025年3月期業績計画

	(百万円)		(百万円)
	2025年3月期	前年比 (%)	2024年3月期
売上高	44,000	+22.5%	35,910
営業利益	1,500	+248.6%	430
経常利益	2,200	+116.1%	1,018
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,700	+65.0%	1,030

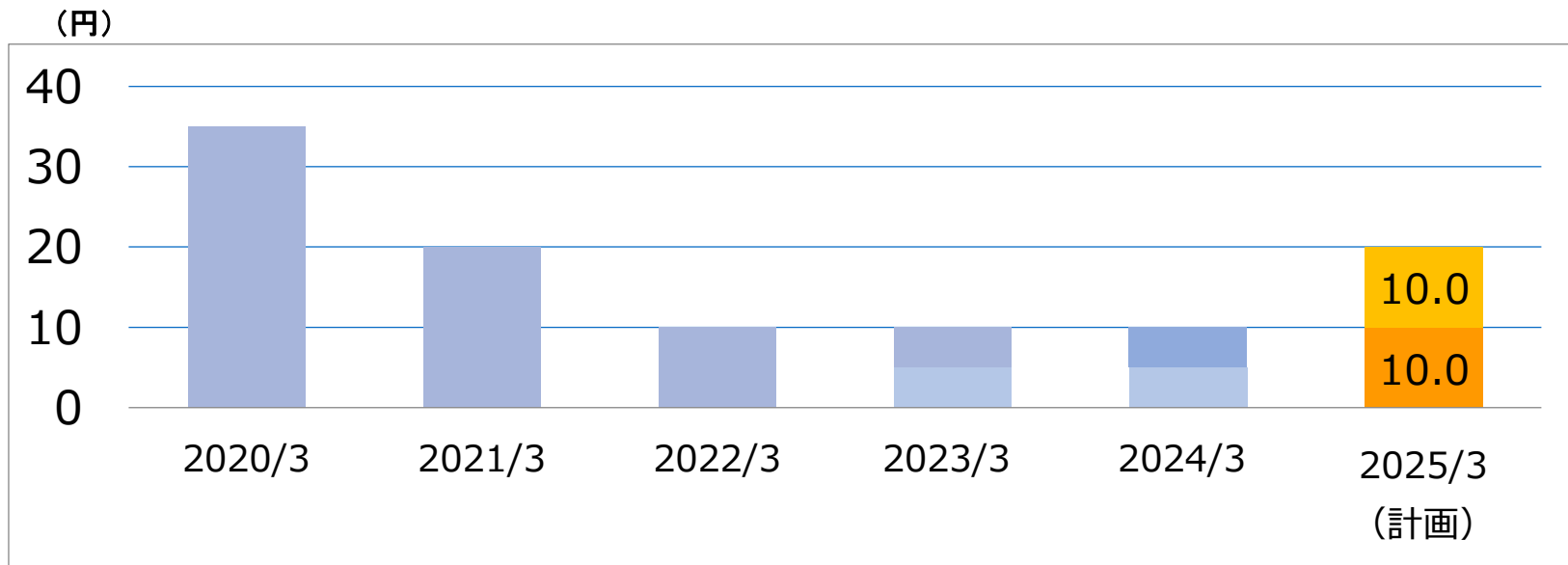
通期計画の前提 為替レート 140円/米ドル 150円/ユーロ

2024年3月期 中間配当金 5円 期末配当金 5円

2025年3月期（計画） 中間配当金10円 期末配当金10円

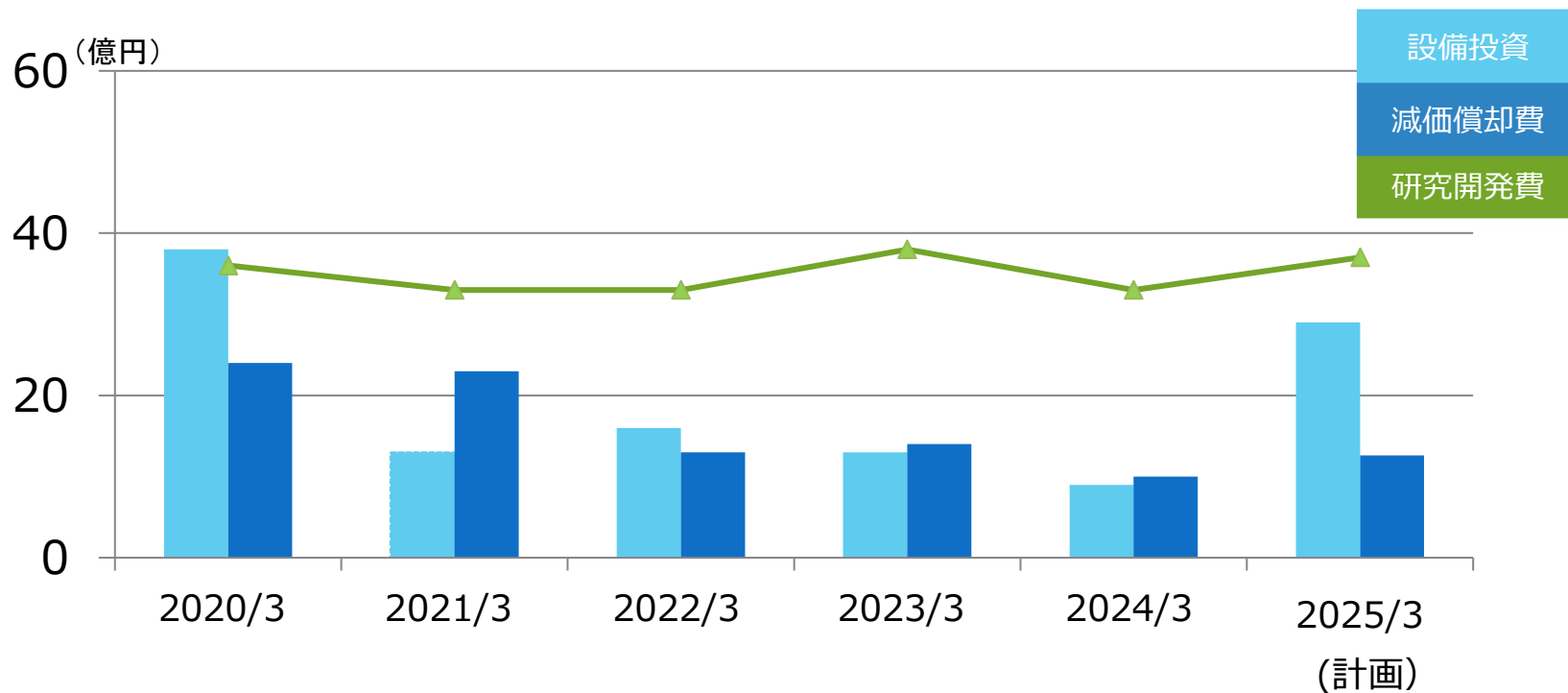
【配当方針について】

2024年度から始まる3カ年の中期経営計画「Ever Onward 2026」に基づき、収益力の向上につながる積極的な成長投資と財務体質の強化に努めながら、連結配当性向40%を目安に株主配当を行うことで、株主還元の充実を図る。



24年3月期（実績） 設備投資9.0億円（リース資産0.3億円含む）
減価償却費9.9億円、研究開発費33.4億円

25年3月期（計画） 設備投資29億円（リース資産6億円含む）
減価償却費12.6億円、研究開発費37億円



中期経営計画

(2024～2026年度)

Ever Onward 2026

機会

外部

- 世界の人口増加、GDP成長によるマーケットの安定的な成長
- モノづくり環境の変化に伴うマーケット移動の加速化
- サステナブルなモノづくりへの段階的な移行

自社

- 新たなマーケット開拓への積極的な投資の実行
- ビジネス環境の変化に対応した商品開発／ビジネスモデルの構築
- 持続可能な成長を実現する経営基盤の再構築

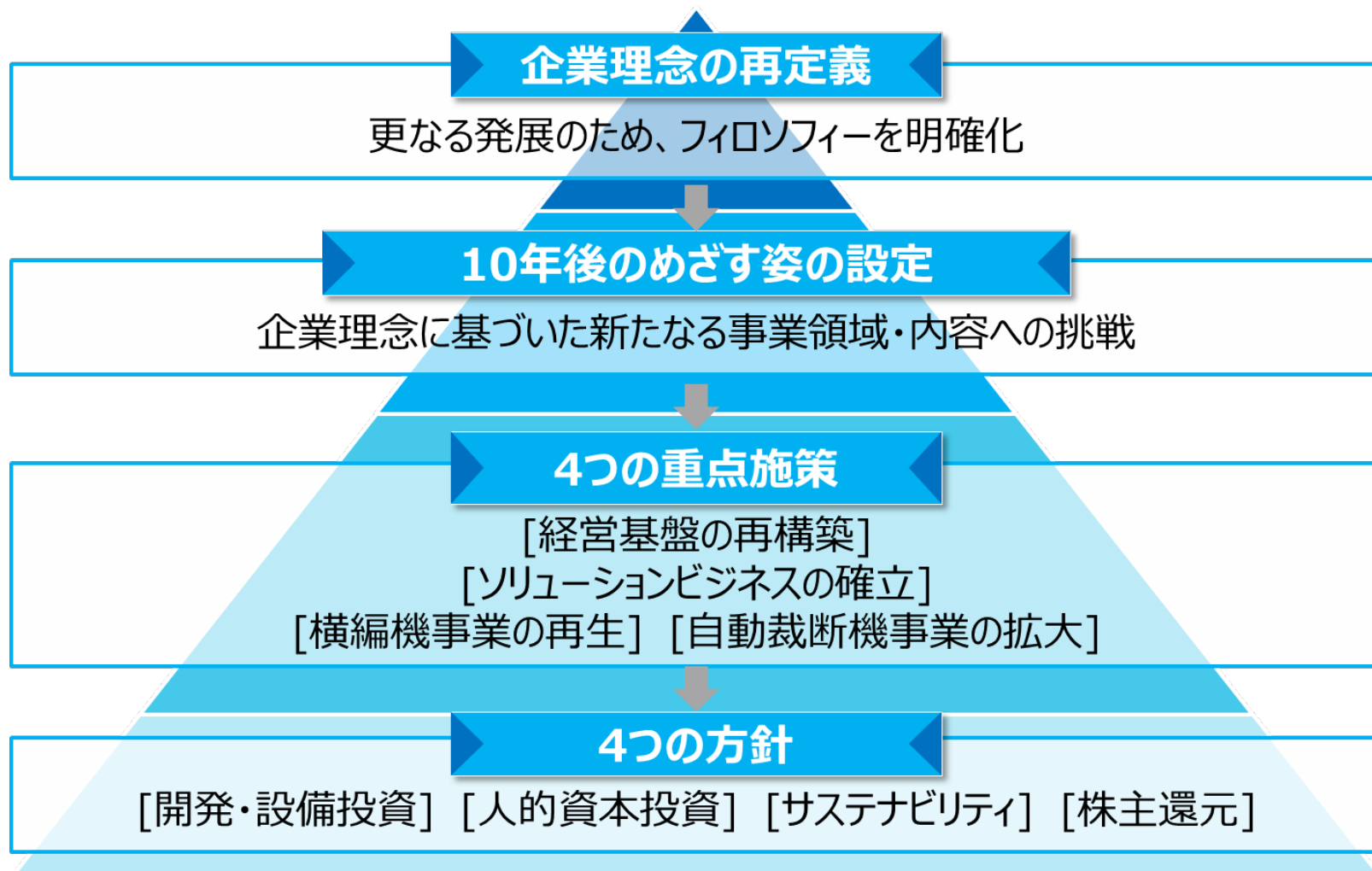
リスク

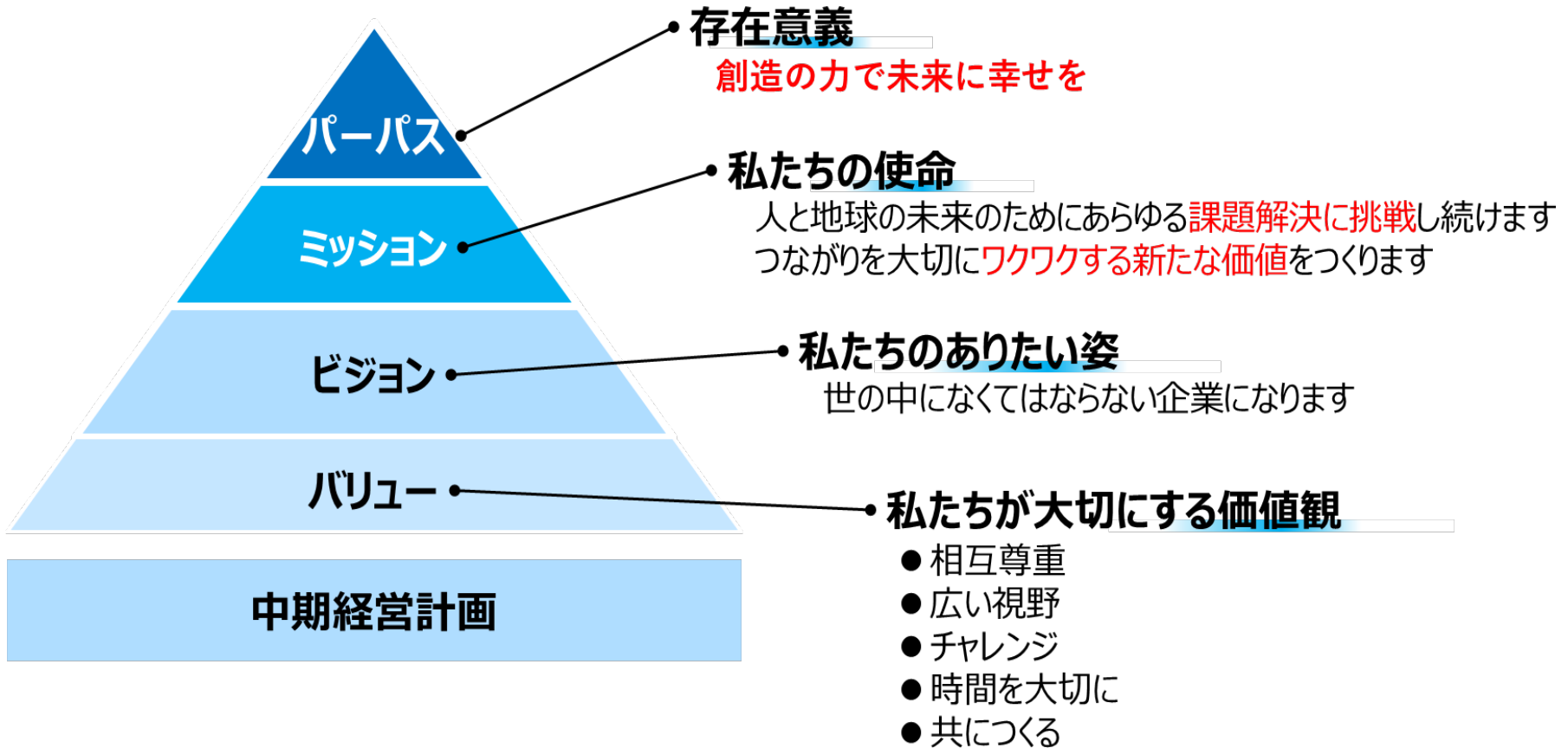
外部環境

- 多発する紛争や複雑化する世界経済による投資意欲の減退

競争環境

- 競合他社とのシェア争いの激化





- 横編機事業の販売が順調に回復
- 売上高の伸長にあわせて各利益も大幅に増加

(億円)	2020年度 実績	2023年度 実績		2026年度 目標	増減率 2023→2026
売上高	244	359	➔	550	+53.2%
営業利益	△91	4		70	16.3倍
経常利益	△72	10		75	7.4倍
当期純利益	△178	10		55	5.3倍
ROE	△18.1%	1.2%		6.0%	

経営基盤の再構築

- ▶ 収益の安定化と事業の成長に向けた抜本的な意識改革と社内体制・業務プロセスの刷新を断行し、持続的な企業成長に向けた経営基盤の再構築を進めます。

ソリューションビジネスの確立

- ▶ ファッション業界のサプライチェーンにおける課題解決のためのソリューションを提供し、業界全体の付加価値を高めていくことを通じて、当社グループの持続的な企業成長につなげていきます。

横編機事業の再生

- ▶ 市場にマッチした新製品の開発、徹底したコストダウンの実行、ファッション産業以外の新規市場の開拓などの諸施策を通じ、横編機事業の持続的な成長を確実なものにします。

自動裁断機事業の拡大

- ▶ 機械性能を大幅に向上させた製品ラインアップを市場投入するとともに、積極的な投資により販売ルートおよびアフターサービス網を拡充し、横編機事業に続く事業の柱へと成長させます。

SHIMA SEIKI

本資料に記載されている当社の計画および業績の見通し、戦略などは発表日時点において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、様々な要因により大きく異なる可能性がありますことを、予めご承知おきください。